

## 展示解説シート



令和四年 八月二日～九月四日

第一七四回ミニ企画展

### 戦時中の紙芝居

人々の前で、物語を語り聞かせる紙芝居。一枚の紙に挿絵を描き、引き抜きながら物語を語る「平絵紙芝居」という形式は、昭和5年(1930)頃に登場したとされます。戦争が始まるとともに、紙芝居は国策の宣伝や人々の戦意を高揚させるお話が作られるようになりました。

国の方針や銃後（戦場の後方）の国民としてのあり方を示すお話は、子ども向けではなく、大人向けに作られたものが多くあります。昭和12年（1937）以降、街頭での紙芝居は、安易に戦意を高揚させるとして、検閲や上演の取締りを受けました。つまり、街頭では禁止対象でした。

一方で、紙芝居は大衆性と視覚でわかりやすく伝達できる点（しかも安価に）が注目されます。そのため、同年に始まった戦意高揚と、経済戦への協力を呼び掛ける国民精神総動員運動など、国策を伝えるメディアとして、紙芝居の上演場所は、街頭から各地の会合に移していきました。全国くまなく情報を伝達する手段として、紙芝居が選ばれたわけです。

本展では、博物館が収蔵している戦時中の紙芝居の中から、いくつかを紹介することで、戦時下の様子とともに、メディアを通じた宣伝方法について紹介します。

## 物語や実話

物語を語るのは紙芝居の定番です。大人も子どもも理解できる物語がほとんどですが、戦時中の紙芝居には、国民の戦意高揚や、戦時下の国民のあり方をイメージできるエッセンスが織り込まれています。

南朝の忠臣とされた楠木正成の物語（『楠公父子』）や、忠臣蔵（未展示）などの時代物のほか、『チョコレートと兵隊』のような、戦時下の実話を元にした物語などが代表ですが、銃後の女性のあり方を示したような話（『炭焼く妻』『おくればせ』）があるのも特徴的です。

## 国の方針を伝える

紙芝居は、昭和13年（1938）に公布された国家総動員法に始まる国民統制や、行政の管理におかれた町内会や隣組をわかりやすく伝える手段として利用されました。

金属類の回収への協力や、隣組の定例会（常会）のあり方など、大人向けの内容ですが、図やエピソードを交えながら、紙芝居のもつ視覚や物語性を活かした作品が作られています。また、作品は日本教育紙芝居協会などの数社が発行し、のちに大政翼賛会宣伝部などの推薦を受けるようになっていきます。

## 貯蓄のすすめ

---

紙芝居の内容で意外に多いのが、国債の購入や保険への加入をすすめる内容です。

貯蓄にあまり縁のない登場人物が国債の購入の意義に目覚める話（『うっかりさん』『江戸っ子寅さん』）や、家族などの死にあたり、生前に加入していた簡易保険が物語展開のきっかけになる話（『乙女橋』『ばら物語』）など、今でいうステルスマーケティングのようなお話がみられます。

後者はいずれも逓信省管理局の指導による物語で、紙芝居の油断ができない側面が垣間見られます。

## 戦時中の紙芝居研究

---

戦時中の紙芝居研究は、神奈川大学日本常民文化非文字資料研究センター「戦時下日本の大衆メディア」研究班（代表：安田常雄）によって、各地の紙芝居の調査が行われ、リスト化や解題作成とともに、様々な視点で研究が行われています。解説作成にあたっては、これらの研究成果を元としています。

【参考文献】『国策紙芝居からみる日本の戦争』 2018、勉誠出版

『国策紙芝居』（神奈川大学評論ブックレット 41） 安田常雄編、お茶の水書房

## 展示作品一覧

---

◇ 楠公父子	昭和 19 年 (1944)	全 20 枚	日本教育紙芝居協会発行	Ⓐ
◇ チョコレートと兵隊	昭和 16 年 (1941)	全 22 枚	日本教育画劇発行	Ⓑ
◇ おくればせ	昭和 16 年 (1941)	全 24 枚	日本教育紙芝居協会発行	Ⓑ
◇ 進め一億、火の玉父さん	昭和 17 年 (1942)	全 11 枚	大政翼賛会宣伝部発行	Ⓑ
◇ 常會の手引	昭和 16 年 (1941)	全 19 枚	日本教育画劇発行	Ⓑ
◇ 金物総動員	昭和 16 年 (1941)	全 10 枚	日本教育紙芝居協会発行	Ⓑ
◇ ばら物語	昭和 17 年 (1942)	全 20 枚	日本教育紙芝居協会発行	Ⓐ
◇ 乙女橋	昭和 16 年 (1941)	全 20 枚	日本教育紙芝居協会発行	Ⓑ
◇ 江戸っ子寅さん	昭和 17 年 (1942)	全 20 枚	日本教育紙芝居協会発行	Ⓑ

[以下複製展示]

◇ うっかりさん	昭和 16 年 (1941)	全 20 枚	全甲社紙芝居刊行会発行	Ⓐ
◇ オトギ列車	昭和 16 年 (1941)	全 10 枚	日本教育紙芝居協会発行	Ⓑ
◇ 明るい銃後	昭和 16 年 (1941)	全 22 枚	大日本画劇発行	Ⓑ
◇ 南海の防人	昭和 17 年 (1942)	全 20 枚	画劇報国社発行	Ⓐ
◇ 炭焼く妻	昭和 17 年 (1942)	全 24 枚	日本教育紙芝居協会発行	Ⓐ
◇ ふくれる男	昭和 17 年 (1942)	全 11 枚	画劇報国社発行	Ⓐ